



政府統計

報道関係者 各位

平成 29 年 11 月 21 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 後藤 敬一郎

室長補佐 成井 裕子

(担当) 成年者縦断統計企画係

(代表電話) 03(5253)1111 (内線 7592)

(直通電話) 03(3595)2322

第 5 回 21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）の結果

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「21 世紀成年者縦断調査（平成 24 年成年者）」の第 5 回（平成 28 年）の結果を取りまとめましたので公表します。

21 世紀成年者縦断調査は、仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、希望子ども数などを継続的に調査し、少子化対策など厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的として、平成 24 年から毎年実施しており、今回は平成 28 年 11 月 2 日に調査を実施しました。

【調査結果のポイント】

○ 第 2 子以降の子どもをもつ意欲

第 1 回調査時から第 5 回調査時までの 4 年間で第 1 子が生まれた夫婦では、夫 79.2%、妻 72.9% が、第 2 子以降の子どもを「もちたい」と考えている。 (4 頁 表 2)

○ 独身時の希望子ども数と結婚後の子ども数の有無

第 1 回調査時に独身で第 5 回調査時に既婚だった者では、第 1 回調査時の希望子ども数が 2 人以上だった場合、男女ともに 5 割近くが第 5 回調査時まで子どもを持っている。 (6 頁 図 4)

希望子ども数 (第 1 回)	子どもあり (第 5 回)	
	<男>	<女>
・ 2 人	47.3%	48.4%
・ 3 人以上	48.5%	47.4%

○ 独身者の子ども観

第 1 回調査時から第 5 回調査時まで独身だった者について、「子どもが欲しい」とする者と「子どもは欲しくない」とする者別に第 5 回のそれぞれの子ども観を比較すると、「子どもが欲しい」方が高く、その差が大きいのは、男女ともに「家族の結びつきが深まる」「子どもとのふれあいが楽しい」となっている。 (8 頁 図 5)

	男			女		
	子どもが欲しい	子どもは欲しくない	差	子どもが欲しい	子どもは欲しくない	差
家族の結びつきが深まる	63.9%	18.7%	45.2	68.8%	27.3%	41.5
子どもとのふれあいが楽しい	58.8%	14.6%	44.2	68.8%	23.9%	44.9

注：「差」とは、「子どもが欲しい」から「子どもは欲しくない」を引いた割合の差。

詳細は、別添概況をご覧ください。